

2014 年度プールマニュアル

☆朝の準備

プールに着いたらまず3Fレストハウスに行き、荷物を置き、窓を開け、しっかりと固定する。
更衣室の窓を開け、下に降りてきて朝の準備スタート。

その時に汚れないか Check !

☆朝掃除の場所・準備

2F 男・女更衣室、幼児プール、25mプール、流水プール

1F 男・女トイレ、

更衣室

- ・更衣室の窓開け ←換気のため
- ・掃き掃除（濡れているところは掃かない）
- ・すのこおろし
- ・シャワー室、トイレの窓開け、電気をつける
- ・トイレットペーパーの確認（常に予備が2個置いてある状態に）
- ・入り口のドアを閉める
- ・更衣室の窓を閉める ←すべての掃除が終わり、MTも終わってレストハウスに戻る時に閉める
レストハウスに戻るときに閉める（換気時間を長くとるため）

幼児プール

- ・男子シャワー室にあるゴミ箱の設置（カン・ペット）
- ・ゴミ袋はすべてアミのふちの所にはさむ
- ・クモの巣があれば取り除く
- ・ゴミがあれば掃く（落ち葉なども全て）
- ・鳥のフンなどがあればデッキをかける
- ・花壇の花に水をやる
- ・バケツを置く

25mプール

- ・男子シャワー室にあるゴミ箱の設置（カン・ペット）
- ・鳥のフン、枯れ葉などをチェックして状況に応じて掃き掃除やデッキをかける
- ・ゴミ袋はすべてアミのふちの所にはさむ
- ・すのこをおろす

流水プール

- ・男子シャワー室にあるゴミ袋の設置（カン・ペット）
- ・ゴミ袋は全てアミのふちの所にはさむ
- ・すのこをおろす
- ・鳥のフン、枯れ葉などをチェックして状況に応じて掃き掃除やデッキをかける

1F男・女トイレ

- ・トイレットペーパーの確認補充・三角折り（常に予備が2個置いてある状態に）
- ・掃き掃除
- ・電気、換気扇のスイッチは必ずつける
- ・汚物入れがセットしてあるか確認

シーバー

朝のMTが終わった後、レストハウス用のシーバーの感度チェック（ラジオチェック）
管理棟前で確認↓

「ラジオチェック×2、B1 そちらの感度はどうですか？」

「感度良好です。そちらの感度はどうですか？」

「良好です」...etc

※他のポジションのシーバーは1番最初にそのポジションつく人が配置につく時に感度チェックを行う

★夕方の片付け

各プール

- ・すのこをあげる
- ・汚れをデッキで落とす
- ・ゴミ袋をまとめる
- ・ゴミ袋が空なら回収しベース前で管理。（雨水等で濡れないように）
- ・奇数日は流水に水をまき、デッキをかけ、水切りをする。
偶数日は2.5m・幼児に水をまき、デッキをかけ、水切りをする。

ゴミ箱・ゴミ処理

- ・ゴミ箱（カン・ペット）はすべて管理棟横に集める
- ・ゴミ箱の中にゴミがなければ男子シャワー室に置く

ペットボトル

- ・本体とキャップ、外袋に分ける（キャップはリサイクル）
- ・きれいに水洗いし、つぶして捨てる
- ・ゴミ袋はなるべく1つにまとめて空の袋は洗って干す

カン

- ・きれいに水洗いし、つぶして捨てる

1F トイレ男・女

- ・掃き掃除
- ・汚物処理（女子）
- ・水まきをしてデッキ（トイレ用）
- ・水切り
- ・トイレ出入口前の水切り
- ・トイレットペーパーの補充（常に予備が2個置いてある状態に）
- ・トイレットペーパーの三角折り

更衣室

- ・お客さんがいなくなったのを確認し、窓を開け換気
- ・すのこを上げ掃き掃除（濡れている所は掃かない）
- ・トイレットペーパーの補充、三角折り（常に予備が2個置いてある状態に）
- ・汚物処理（女子）三角コーナーチェック
- ・トイレシャワー室の電気を消す
- ・換気扇はつけておく
- ・入り口を開けておく
- ・更衣室の奥のドアも閉める（MT後）
- ・窓をしっかりと閉める、カチャッとなるまで（MT後）
- ・ゴミ捨て
- ・電気を消す

※全てが終わったら MT をしてレストハウスに行き、窓をしっかりと閉めて海へ移動

☆海浜公園プール

1. プールの一日の流れ

| | |
|-----------|---------|
| 8 : 0 0 | ガード準備開始 |
| 8 : 4 0 | ミーティング |
| 9 : 0 0 | 監視業務開始 |
| 1 7 : 0 0 | 監視業務終了 |
| 1 7 : 1 0 | ミーティング |
| 1 7 : 1 5 | 移動開始 |

※基本的には 30 分ローテーションでポジションを交代する

※食事は各自休憩の時間を使ってとる

※あくまでも基本的な流れであり、日によって異なるためプール長の指示に従う

※5 分前行動

※正午はゴミが出やすいのでゴミ箱がいっぱいになったら袋を取り替える

2. プールでの各種禁止事項

- ・飛び込み
- ・プールサイドを走ること
- ・浮き輪にお尻で座る事
- ・アクセサリ（メガネ・腕時計・サングラスは落とさないように声をかける）
大きめのピアスは外してもらうように声をかける。
- ・酒類の持ち込み、飲酒をしての入水
- ・サンオイルを塗っての入水（入水前に洗い流せば入水可）
- ・危険となる遊具の使用（硬いボール・水鉄砲・フィンのついたボディーボード・サーフボードなど）
- ・笛の使用
- ・オールを使ったボートの使用
- ・土足禁止（ビーチサンダルは OK）
- ・服を着たままの入水（幼児プールで親が子供の相手で足だけ入っている場合は服を水につけなければ OK）
- ・スイムキャップ以外の帽子をかぶったままでの入水（帽子も服と同様の場合は OK）
- ・流水プールの中央にある白い台に緊急時（子供が溺れたなど）以外上らない
- ・2.5mのプールサイドにある白い台に上ること
- ・プールサイドで走る
- ・幼児プールの噴水に触ること
- ・刺青（他のお客様の迷惑となる場合のみ禁止する）
- ・明らかに不審な人によるカメラ、ビデオカメラの使用
- ・足入れ浮き輪の使用
- ・シュノーケル

- ・首からかけるもの（防水のコインケース・デジカメなど）をつけての入水
- ・その他、他のお客様の迷惑となる行為（プールサイド近くや混雑時の騎馬戦や肩車など）
- ・リーシュの付いた浮き具の使用（ただし、リーシュを取ればOK）
- ・プールの塀に上ること。

※また、混雑時には大きなフロートの使用は控えてもらう

※注意事項に反する人に対し、どう注意するか、あるいは注意しても聞いてくれない場合の対応を考えよう。 →どうしても対処できない場合はプール長に伝える

※これらの禁止事項は状況によって臨機応変に対応できるようにする

3. ポジション

| | |
|-------------|--|
| B1（ベース1） | 全体を監視し、全てのポジションを統括する |
| P1（パトロール1） | 基本的には流水プールを歩きながら監視する |
| P2（パトロール2） | 基本的にはP1の要請をうけてから流水プールを監視する P1やTと連携をとりながら死角をなくす |
| 幼（幼児プール） | 基本的には幼児プールを歩きながら監視する |
| 25（2.5mプール） | 基本的には2.5mプールを歩きながら監視する |
| P3（パトロール3） | 基本的には2.5mの要請を受けてから2.5mプールの監視をする 2.5mと連携を取りながら監視する 状況に応じてタワーを立てたりパトロールとして監視したりする 流水プールが混んでいたりその他フォローが必要な場合、柔軟に対応する |

4. 注意してみる人

- ・保護者がついていない子供
- ・お酒を飲んでいる人
- ・妊婦
- ・具合、顔色の悪い人
- ・障害のある人
- ・泳ぎがあまりうまくない人 →壁につかまっている等
- ・フロートをもって、足がつかない子
- ・背が低い子
- ・浮き輪を持っている子
- ・ずっと水中に潜っている人

5. 危険な箇所

- ・ 幼児プールの噴水（とても滑りやすい）
- ・ プールサイド（濡れていると滑りやすい、ほかのお客様との衝突の危険性あり）
- ・ 橋の下（橋で死角になり見えにくい）
- ・ 流水プール階段付近（滑りやすい）
- ・ 流水装置付近（急激な流れがあるので足をすくわれやすい）
- ・ 2.5mプールの中央（プールの真ん中が一番深くなっている）

6. 休憩時の対応

(1) 休憩開始の合図

休憩開始の放送が終わり次第、各ポジション笛を吹き遊泳客をプールからあげる。各プール全員があがり次第、シーバーでBに連絡する。全ポジションからの連絡が来次第、Bが休憩中の放送をする。各ポジション遊泳客が完全にあがるまでプールから目をはなさない。休憩中はプールに手や足でも入れてはいけない。

(2) 水中確認

朝の掃除時、12時・14時の休憩時間の間にプールの中に入り危険物・落し物がないか、排水溝に異常がないかを確認しBに報告。

上記以外の時間は臨機応変に対応。陸上から水中を確認する。

(3) 休憩終了の合図

休憩終了の放送が終わり次第、各ポジションそろえて笛を吹く。この時、休憩終了後は飛び込みが多いので注意する

(4) プールサイドでの待機時の対応

待機時でもプールから目を離さない。

P1はP2が出ている場合のみ、死角ができないように座っての待機を許可する。

幼児・2.5はB1前のベンチで待機をする。

監視中にお客さんが減り、待機する場合「待機します・出ます」等のシーバーは入れなくて良い。

※休憩中に体調の悪そうなお客様がいないかもできればチェックする

プールサイドは熱くなりやすいので、バケツでたまに水をまく

7. 塩素チェック

9・11・13・15時に全てのプールの塩素チェックを行う。この時に水温も測る。塩素の液はプールサイドに捨てずに水道の排水溝に流し、残らないようにしっかりと水で洗い流す。結果は、Bにある塩素チェック表に記入。9・13時はホワイトボードにも記入。日誌には必ず0.1以上で記入する。

★オムツのとれていない子の対応について

- ・オムツのとれていない子どもの入水は衛生的に良くないため禁止とする。ただし、プールに足をつける程度なら可
- ・注意するときはオムツをはいていることを確認してから注意する
- ・オムツがとれていなさそうな子どもでも水着での入水は可。オムツをはいてきた子どもでも水着に着替えれば入水を許可する。そのときは必ず更衣室で着替えてもらう
- ・プール用のオムツも出回っているが、それも禁止とする。理由は普通のオムツと見分けがつかないため、それを見たお客様が勘違いしてしまうから

★クーラーボックス、お酒について

- ・クーラーボックスを持ってくるお客様が多々いるが、中身は確認しなくて良い
- ・もしすでにお酒を飲んでしまっているお客様を発見したら禁止であることと、飲酒をしての入水の危険性をちゃんと説明する
- ・飲酒をしている人がいたら、他のお客様の目につくといけないので、空き缶を回収する
- ・ポジション交代時にゴミ箱にお酒のゴミが入っていないかチェックする

★その他

接客業だということを忘れない

- ・注意をするときはサングラスを外したりし、目線を合わせるためにしゃがんだりする
- ・レストハウスのシーバーは必ず誰かが聞ける状態にいること
- ・基本的にわからないことがあったら、プール長に聞く。もしくは任せる
- ・メモ帳は必須！教わった事はどんどんメモする事
- ・監視中に落とし物が届けられたら、その時間は持ったままで交代時に B へ持っていく
- ・プールは日影が少なく、日差し・暑さ共に厳しいので各自レスト中にシャワーを浴びるなど工夫をすること
- ・連絡ノートを活用してメンバー同士の情報共有をしよう
- ・何かあればすぐプ長を呼ぶこと